

2018 寺尾小学校 学校評価

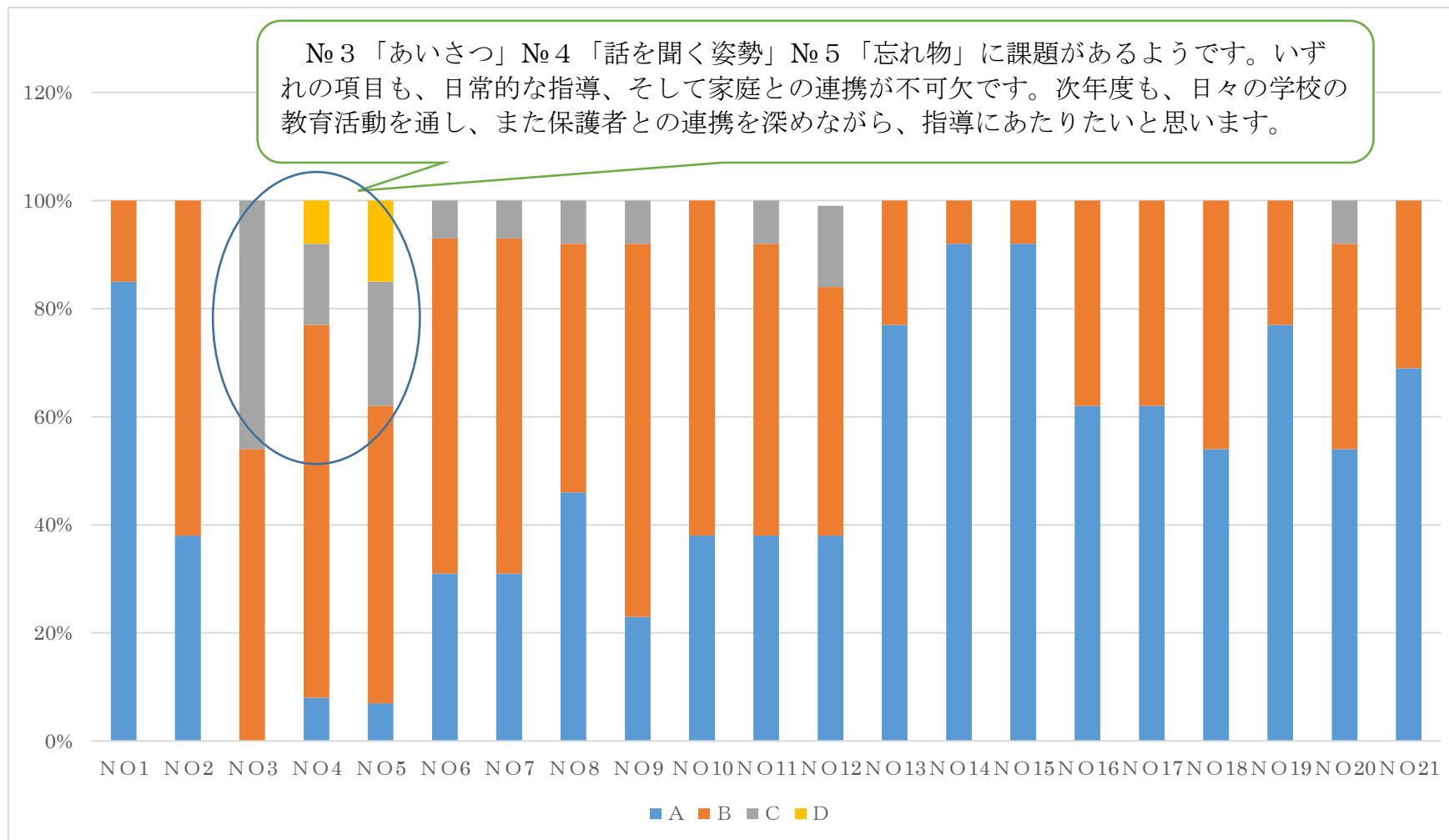
(目 次)

平成 30 年度 寺尾小学校「学校評価」評価項目	1
教職員による評価結果	2
保護者による評価結果	3
児童アンケート結果	4
学校関係者評価結果	5
学校評価についてのまとめ	6

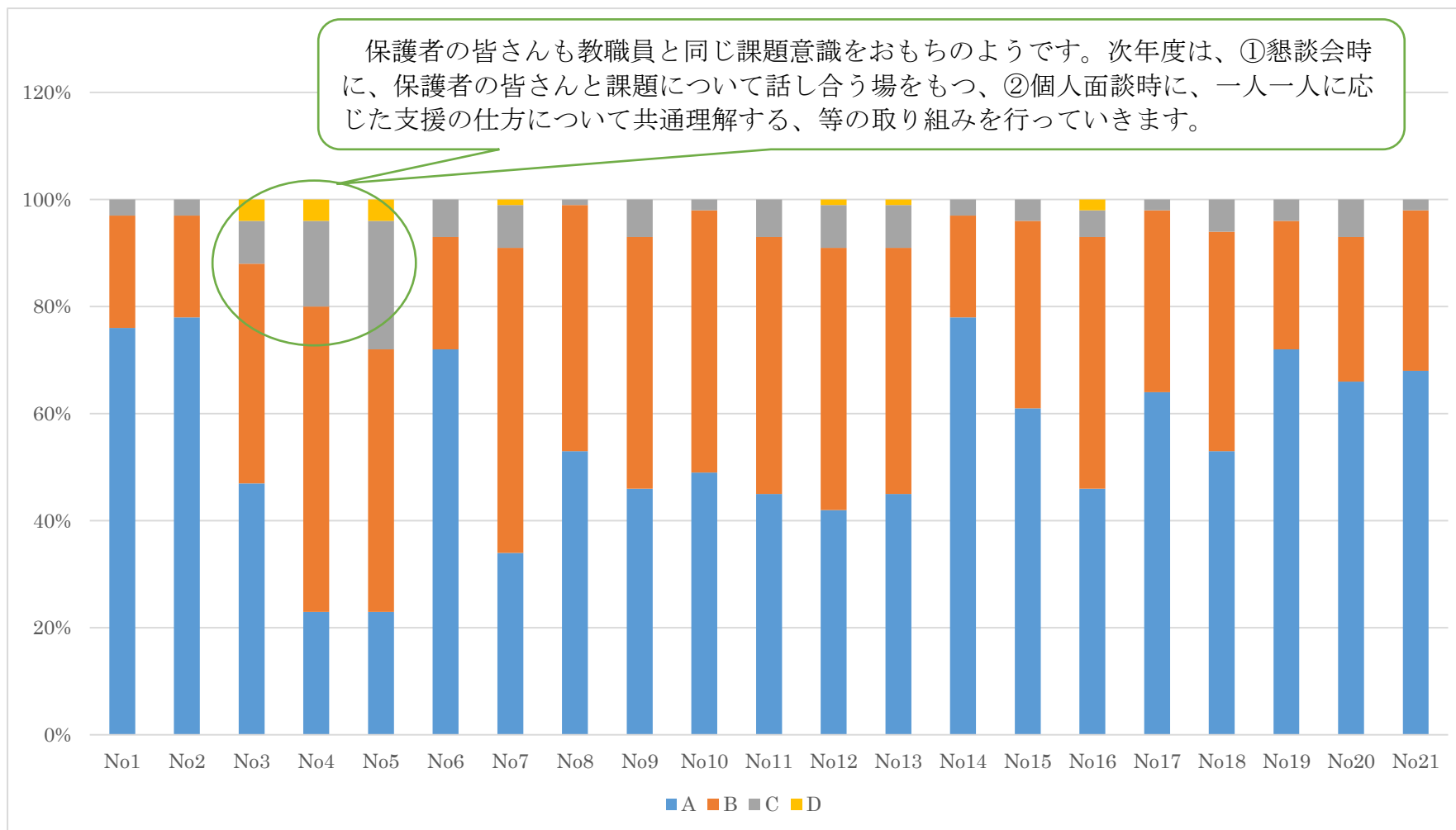
平成30年度 寺尾小「学校評価」評価項目		比較表	
	教職員	保護者	児童
1	児童は、喜んで登校している。	お子さんは「学校は楽しい。」と言っている	私は、学校が楽しいです。
2	児童の学校内の人間関係は良い。	お子さんは、学級の友達と仲よくできている。	私は、学級の友達と仲よくできています。
3	児童は、明るいあいさつや元気の良い返事をしている。	お子さんは、あいさつや返事をよくできている。	私は、あいさつや返事をよくできています。
4	児童は、話をしっかり聞く態度ができています。	お子さんは、人の話を聞く態度がしっかりできています。	私は、人の話をしっかり聞くことができています。
5	児童は、学習道具や提出物など忘れ物がない。	お子さんは、学習道具など忘れ物がない。	私は、学習道具など忘れ物がないよう注意しています。
6	児童は、交通ルールや校内のきまりを守っている。	お子さんは、交通ルールを守って登下校している。	私は、交通ルールを守って登下校しています。
7	児童の興味関心を高める教材を取り入れている。	お子さんは、「授業が楽しく分かりやすい。」と言っている。	先生の授業は、楽しく分かりやすいです。
8	授業でグループなどの話し合い活動を取り入れ、児童が主体的に活動するような工夫をしている。	授業の中で、グループや話し合い活動が行われている。	私は、グループや話し合いに自分から進んで参加しています。
9	授業で根拠を明確にして自分の考えをまとめて書く指導をしている。	授業の中で、児童が自分の考えをまとめて書く場面がある。	私は、授業の中で、自分の考えをまとめて書くのは難しいです。
10	発表の仕方や目的を明確にし、児童の発表の機会をつくらせている。	授業の中で、児童の発表の機会が多くある。	私は、友達の前で発表することは得意です。
11	児童に学年に応じた基礎学力をしっかり身につけさせている。	学校は、基礎・基本をしっかり学ばせている。	先生は、繰り返し基本的なこと(計算や漢字など)を指導してくれるのでテストは得意です。
12	児童に対して、家庭と連携を図り、家庭学習の指導を実施している。	学校は、家庭学習の習慣化を図るために適切な課題(宿題)を与えている。	授業以外にも、家など(学童・塾含む)で学習しています。※時間は、およそ()分・時間
13	愛情と思いやりをもって、児童に接し、いじめ防止につとめている。	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに取り組んでいる。	友達の陰口や悪口を言わず、自分がされていやなことはしません。
14	学校は、健康増進、体力の向上に努めている。	学校は、健康・体力づくりに努めている。	私は、外で元気に遊び、健康に気をつけています。
15	学校は安全教育、防災教育に努めている。	学校は、事故防止に努め、子どもの安全について指導や取組をしている。	私は、地震や災害の時にどうしたらよいかわかっています。
16	保護者と連絡を密にし、信頼関係を構築している。	学校は、保護者の願いを教育活動に反映させている。	
17	HP、学年だよりで、学級の様子を発信している。	学校は、学校たよりや各種たより・ホームページなどで、わかりやすく情報発信をしている。	
18	児童や保護者から相談しやすい雰囲気づくりに努めている。	学校は、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。	先生は、私の話をよく聞いてくれます。
19	学校の行事(運動会、オープンスクール、校外学習など)は意義あるものである。	学校は、楽しく意義ある行事(運動会、オープンスクール、校外学習など)を実施している。	学校の行事(運動会、オープンスクール、校外学習など)は楽しいです。
20	授業参観は、適切な回数を適切な時期に実施している。	学校は、適度に学校公開日を設けている。	
21	とちぎ未来アシストネットを利用し、地域との連携を進めている。	学校は、PTAや地域ボランティアと適切な関係にあり、連携・協力が図られている。	地域ボランティアがいる授業はよくわかります。

・・・小中一貫教育における小中共通の質問項目

1 平成 30 年度 教職員による評価

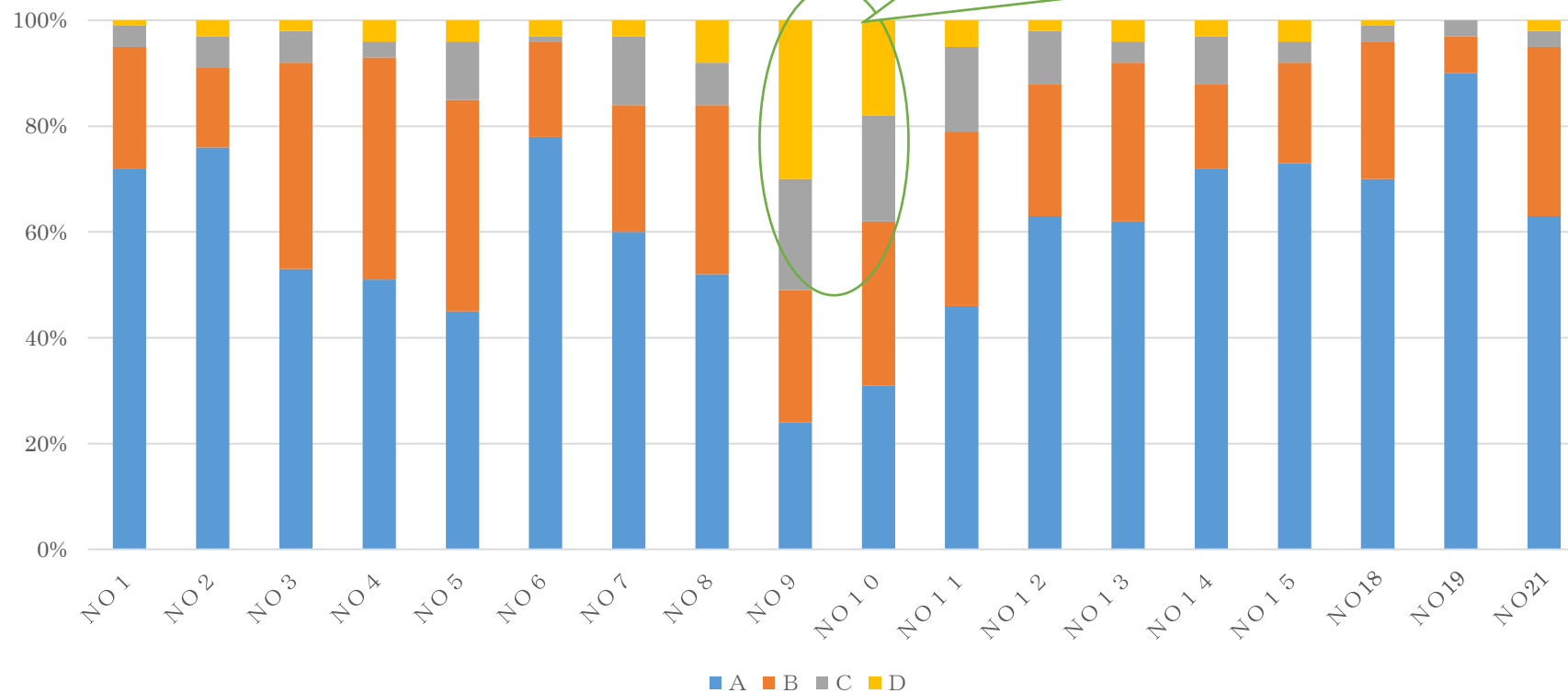


2 平成 30 年度 保護者による評価



3 平成 30 年度 児童アンケート

No.9 考えを書く No.10 発表する この二つの点に苦手意識をもっている児童が多いようです。次年度は、授業の中で「書く」「話す」活動を意識的に増やしていきます。また、児童に「発表」させるには、安心して発表できる雰囲気づくりも大切です。友達と協力しながらともに伸びていけるような、楽しい学校・学級づくりに努めていきます。



平成30年度 学校関係者による評価

1 学習指導の充実

【寺尾小・中の重点目標】学力粘り強く取り組み、自らの考えを表現できる子どもの育成

- ・一生懸命授業に取り組む児童の姿が見られる。
- ・個々の児童の能力、実態に合わせた指導を引き続きお願いしたい。
- ・教職員が、小規模校の特色を生かし細かな指導をしていると感じる。
- ・小中一貫教育で、研修会や授業研究会を行っていることに敬服する。

2 温かな人間関係づくり

- ・友達同士思いやりをもって生活していることが見とれる。
- ・楽しく安心できる学校を維持してほしい。

3 家庭・地域との関係

- ・児童が、教職員はもとより、地域の住民と自然なコミュニケーションができることは、本校の長所であり特色である

4 学校運営全般について

- ・寺尾小の合い言葉「わたしが光る、みんなで伸びる」に示されていることは、児童に夢と希望を個々に持たせ、努力させる事だと思ふ。褒めることを意識しながら、さらに邁進してほしい。

平成30年度 学校評価についてのまとめ

1 成果

- (1) いじめ防止や防災教育に関する項目に高い評価が得られ、安心・安全な学校を基盤とした、自他の生命と人権を大切にする教育が図られている。
- (2) とちぎ未来アシストネットや情報発信に関する項目に高い評価が得られ、ふるさとを生かし地域に愛される学校として根付いていることを実感する。
- (3) 学習を習慣づける教師の適切な働きかけがあると学力の向上に結びつくことが実証されつつある。
- (4) 家庭との連携がしっかりできるクラスほど教育効果が上がることが分かる。

2 課題

- (1) 基本的な生活習慣の課題として、「話しの聞き方・元気のよいあいさつ・忘れ物」について、教職員・保護者から指摘があった。豊かな学び、豊かな人間関係を作り上げるためにも、学校と家庭での連携を図りながら、課題を意識した指導に努めたい。
- (2) 児童は、「話し合う・考えを書く・意見を発表する」という学習活動に、苦手意識を持っている。小中一貫の重点目標でもあるので、引き続き「多様な意見や資料を活用し、自分の考えを説明できる子どもの育成」を目指して、継続的に授業改善をしていきたい。

3 成果と課題を踏まえた今後の取組

- (1) 教職員、保護者との課題の共有化
- (2) 小中一貫9年間を通しての継続的指導、段階的指導の工夫